

授業科目	生活の中の環境学				単位	2		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	CH10406J		
開講年次	2年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1			
担当教員	末寄 雅美							
授業概要	<p>この授業では、身近な生活とそれを取り巻く環境について、様々な実践活動から多角的に学びます。特に自然環境について、私たちの日常生活が環境にどのような影響を与えているのか、衣食住を取り巻く環境、生物の生態の実態や環境問題から具体的に学びます。そのためこの授業では、地元北九州や離島・山村で調査研究や自然保護活動に関わっておられる外部講師の方々の話を中心に授業を進めていきます。実際に屋外で観察をしたり、体験を伴う学習もあります。</p> <p>将来保育者となる皆さんが、保育環境としての知見を深めるだけでなく、自然の楽しみ方を知り、自然保護への関心を高めることを期待しています。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ul style="list-style-type: none"> * 日常生活と身近な自然との関わりについて、知識を持ち関心を深める。 * 北九州市の自然環境について、知見を深め、保育に役立てようとする。 * 自然を保護しようとする態度を身につけ、日常生活を改善できるようになる。 * 自然体験学習などの楽しさを知り、その楽しさを幼児に伝えることができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合			60		20	20	100	
知識・理解 (DP1-1)			60		20	20	100	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ul style="list-style-type: none"> * 日常生活と身近な自然との関わりについて、知識を持ち関心を深める。 →生活と自然の関わりを日常的に意識し、自ら学びを深める意欲を持つ。 * 北九州市の自然環境について、知見を深め、保育に役立てようとする。 →地域での様々な取り組みに自ら参加し、実際に経験した上で保育の題材として取り入れることができる。 * 自然を保護しようとする態度を身につけ、日常生活を改善できるようになる。 →衣食住に関わる生活習慣を見直し、持続可能な生活を自ら始 				<ul style="list-style-type: none"> * 日常生活と身近な自然との関わりについて、知識を持ち関心を深める。 →生活と自然の関わりを日常的に意識できるようになる。 * 北九州市の自然環境について、知見を深め、保育に役立てようとする。 →地域での様々な取り組みに関心を持ち、実際に見たり聞いたりしようとする。 * 自然を保護しようとする態度を身につけ、日常生活を改善できるようになる。 →衣食住に関わる生活習慣を見直し、持続可能な生活について考えようとする。 				

めることができる。 * 自然体験学習などの楽しさを知り、その楽しさを幼児に		* 自然体験学習などの楽しさを知り、その楽しさを幼児に伝えることができる。 →実際の保育の場面		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	授業についての説明、生活と環境について 授業のねらいを理解し、生活と環境(特に自然環境)についての関心を高める話を行う	講義	復習として、一年次の「保育内容「環境」」の資料を読んでおくこと 次回への予習として、自身の幼少期の自然体験についてまとめておく	30
2	地域の自然環境について(外部講師) 自然環境を守る実践から学ぶ	講義	外部講師の話を自分なりにまとめておく 次回への準備を行う	30
3	紫川と魚部の活動について(外部講師) 北九州市の NPO 魚部(ぎよぶ)が積み重ねてきたものとは何か	講義	外部講師の話を自分なりにまとめておく 次回への準備を行う	30
4	希少な水生生物を守る活動ー人間の日常生活と水生生物の環境 (外部講師)	講義	外部講師の話を自分なりにまとめておく 次回への準備を行う	30
5	北九州市の自然環境を用いた保育実践について	講義	予習として、北九州市の自然体験学習(幼児向け)の環境について調べておくこと	30
6	食生活と自然①自然の恵みをいただく・発酵とは (外部講師)	講義	外部講師の話を自分なりにまとめておく 次回への準備を行う	30
7	食生活と自然②酵母を使った食事について・生活の知恵と保存食 (外部講師)	講義	外部講師の話を自分なりにまとめておく 次回への準備を行う	30
8	自然界の食物連鎖と人間の生活 (外部講師)	講義	外部講師の話を自分なりにまとめておく 次回への準備を行う	30
9	保育における食育と環境学習	講義	予習としてこれまでの実習で見えてきた食育活動についてまとめておく	30
10	自然観察の学習の方法について①感性を開く (外部講師) ※屋外での授業を行います	講義	外部講師の話を自分なりにまとめておく 次回への準備を行う	30
11	自然観察の学習の方法について②観察から理解へ (外部講師) ※屋外での授業を行います	講義	外部講師の話を自分なりにまとめておく 次回への準備を行う	30
12	「観察」から学べることとは	講義	予習として、第10回・第11回の授業で学んだことをまとめてレポートを作成しておく	30
13	生物多様性とは①ー体験から学ぶために (外部講師)	講義	外部講師の話を自分なりにまとめておく 次回への準備を行う	30
14	生物多様性とは②ー持続可能な社会と生活 (外部講師)	講義	外部講師の話を自分なりにまとめておく 次回への準備を行う	30

15	まとめ 授業評価アンケートの実施	講義	期末レポートのテーマの提示 を行う	120
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備 知識や技能	「保育内容「環境」」で学んだことを活かし、さらに応用・発展できる力を身につけてください。			
テキスト	特になし			
参考図書・教材／ データベース・雑誌 等の紹介	NPO 魚部が発刊する雑誌「ぎよぶる」 福岡県立北九州高校魚部編「紫川大図鑑」、「北九州の干潟ブック」、「響灘ビオトープの水辺の生きもの」な ど			
授業以外の学習 方法・受講生への メッセージ	この授業回の多くは、外部講師による内容です。興味深く、意欲的に授業へ参加する態度を求めます。 また、自分の日常生活を振り返りながら学ぶ姿勢を持って下さい。 講義中に体験学習を行う回もあります。体験学習がある場合は前もってお知らせしますので、服装など注意し て下さい。			
達成度評価に関す るコメント	「その他」の評価項目 20%では、授業への積極的な参加態度を評価します。毎回の授業を楽しむ姿勢を見せ て下さい。			